

公民館においでよ！

区民みんなが安心して暮らせる地域を目指して



防災に強い地域づくりを

宮城自治会長（後列左端から3番目）、稲福書記（後列右端から2番目）、棚原明（後列右端）
 幼児園安良城先生（後列左端）、幼児園児の皆さん



伊佐区オリジナルの海拔表示を設置
 (区内60カ所余りに設置している)

■活動を始めたキッカケ
 「自分達が住む地域を一緒に盛り上げないか？」高校卒業後に地域の先輩から誘われたのがきっかけでした。私自身も何か地域のために役に立てたらと自然に思えたからです。
 自治会活動に参加するようになってから地元で挨拶を交わす方が増え、活動を通して自分が住む地域への関心、愛着が深まってきました。
 現在は青年会OBに所属し、近年は地震災害を想定した防災活



棚原 明さん
 ・自主防災組織副会長
 ・防災士

伊佐区自治会 ☎898-2944

市内で唯一の公民館幼児園

1956年に開設し、62年間続いています。児童15名ほどの少人数ではありますが、毎朝子どもたちのかわいい笑い声・泣き声でにぎやかです。

送迎時、お母さんたちの情報交換の場となっています。

大切にしていること

「ゆいまーる」の助け合い精神でお隣近所が声を掛けあい、支え合い、支えられる地域を目指して頑張っています。

また、区民スポーツ大会では防災グッズを賞品として提供するなど、日頃から防災を意識する仕掛けを心がけています。

子ども会、青年会、婦人会、老人会のほかにも、サークル等で公民館を利用することも可能です。

お気軽にぜひいらしてください。

動にも力を入れています。
 ■防災に強い伊佐区に向けて
 伊佐区は大半が海拔2メートル以内にあるため、災害発生時ににおいて地域住民各々が、スピーディーに避難することが求められています。
 そのため「日頃から自然災害に関する知識、関心を持つこと」を目的に、伊佐区各々の場所に海拔表示や、避難方法を説明する掲示板を設置しています。これは、避難訓練等に参加した住民も一緒に現場を見ながら、適切な場所について話し合い、進めてきた取り組みです。
 今後の課題としては、自治会と関わりが浅い人に対して、どのように災害に関する情報を伝達するか、地域全体で防災に関する意欲を継続できるかです。



地域住民、関係団体に避難所生活について話し合う場も設けています

■地域活動は楽しい！
 地域活動を通して子どもから高齢者まで様々な人と関わることで、コミュニケーション能力も向上し、仕事においても活かされている実感があります。そして、ボランティアの楽しさを感じています。
 3月11日(日)には防災講習会、避難食の実演・実食も行います。ぜひお越しください。

- 各自治会の年間行事を市ホームページに掲載しています。
- 3月号市報は、大山区自治会です。